

表3. 集約化によるアクセスへの影響（平均移動距離）

	影響をうける患者人数 (年間平均)	集約される施設数	患者1人当たりの平均移動距離(km)
年間10件以下集約	211	53	5.8
年間25件以下集約	1378	118	9.8
年間50件以下集約	5899	238	11.5
年間75件以下集約	11213	325	12.4
全体人数(平均) 52305		全施設合計 572	

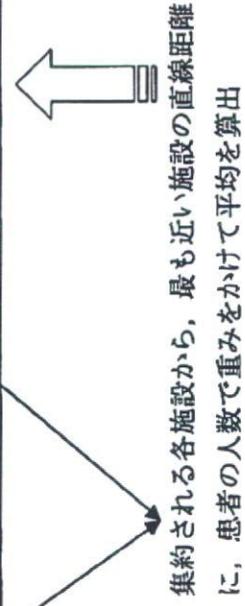


表 4. 集約化によるアクセスへの影響（移動距離内訳）

	5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上30km未満	30km以上50km未満	50km以上	影響を受ける人数合計(年間平均)
年間10件以下集約	158人	74.9% 27人	12.7% 2人	1.1% 19人	9.1% 4人	2.0% 1人	211人
年間25件以下集約	794人	57.7% 235人	17.1% 119人	8.6% 67人	4.9% 96人	7.0% 66人	1378人
年間50件以下集約	2788人	47.3% 1359人	23.0% 711人	12.0% 349人	5.9% 404人	6.8% 289人	5899人
年間75件以下集約	4978人	44.4% 2710人	24.2% 1251人	11.2% 835人	7.4% 827人	7.4% 613人	11213人

\* 人数は4年間の平均、少数単位は四捨五入した。

直線距離かつ一般道の使用を想定すると、30km 以上からアクセスへ影響がある可能性がある。

表5. 現在患者の移動の状況（2次医療圏外への移動）

期間中に開胸術該当疾患が発生した355の2次医療圏における  
2次医療圏外で手術をうけた患者の割合の分布

	二次医療圏数	%	100%を除いた割合
0%が移動	31	8.7%	14.4%
0%以上20%未満が移動	43	12.1%	20.0%
20%以上40%未満が移動	40	11.3%	18.6%
40%以上60%未満が移動	40	11.3%	18.6%
60%以上80%未満が移動	41	11.5%	19.1%
80%以上100%未満が移動	20	5.6%	9.3%
100%が移動	140	39.4%	—

4割程の2次医療圏には心臓外科施設がなく、100%の患者  
が移動している可能性

表 6. 施設集約化による患者側への影響まとめ.

	平均死亡率の予測	施設を移動する患者数 (年間平均)		30km 以上の移動人数		緊急手術に限定した 30km 以上患者数	
		人数	%	人数	%	人数	%
集約なし	4.62%	—	—	—	—	—	—
年間 10 件以下集約	4.40%	211 名	0.4%	4.8 人	0.01%	0.8 人	0.001%
年間 25 件以下集約	4.28%	1377 名	2.6%	162.5 人	0.3%	12.3 人	0.02%
年間 50 件以下集約	3.76%	5899 名	11.3%	692.8 人	1.3%	88.3 人	0.2%
年間 75 件以下集約	3.12%	11213 名	21.4%	1440 人	2.8%	179.3 人	0.3%

\* 緊急手術については「CABG の手術状態緊急」, 「急性大動脈瘤」の両方を数え上げた.

\*\* 移動する患者の割合の母数には心臓外科手術の年間平均患者数 52305 を用いた